

# 議会事業評価シート

【文教厚生委員会】

<p>主要事業名</p>	<p>いじめ・不登校対策事業</p>
<p>方向性・提案</p>	<p>拡充</p>
<p>これまでの事業に対する 評価</p>	<p>・いじめ事案のうち、早期発見・早期対応により重大事態となった件数が0件であった点は評価できる。</p> <p>・不登校対策の体制が整備されていることは評価できる。 適応指導教室（マーキュリー・ルーム、ビーナスルーム）等の居場所があり、小中学校には複数の相談支援チャンネルがあり（メンタルフレンド、スクールカウンセラー（SC）、心の教室相談員、教育相談員）、学校から寄せられた問題については、スクールソーシャルワーカー（SSW）が学校および家庭に助言を行うことで継続的に支援する。子どもサポート会議でいじめ・不登校などの問題を検討し、その防止や指導について協議している。</p> <p>・教育相談員を5中学校に増員配置することで、学校との連絡が密に取れるようになったことは評価できる。</p> <p>・スクールソーシャルワーカー（SSW）が1名常駐し、全小中学校の支援を行っているが、支援件数が増えていることから、増員が必要と感じる。（支援件数：51件（R2）、81件（R3）、222件（R4））</p> <p>・スクールソーシャルワーカー（SSW）が1名で、支援件数が多いことから、早期発見で未然防止する体制が整備されていないのではないかと感じる。</p>
<p>今後の取り組み方と提言</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.教育相談員も5人配置されているが、スクールソーシャルワーカー（SSW）を早急に増員すること。将来的には、5人程度配置していただきたい。</li> <li>2.不登校になる前の兆候を察知し、早期発見で未然防止するために、全ての小中学校において、スクールソーシャルワーカー（SSW）が福祉の視点でアセスメントを行える体制を整備していただきたい。</li> <li>3.スクールソーシャルワーカー（SSW）は会計年度任用職員であるが、人材確保のため、正規職員とすることも検討していただきたい。</li> <li>4.多様な子どもたちに対応できるよう、スクールソーシャルワーカー（SSW）への研修（庁内・庁外）の時間を確保していただきたい。</li> </ol>